

政務活動費活動報告（研修）

- (1) 研修名：地方議員研究会 in 東京
「議員活動の基本と議会改革の流れ」
- (2) 参加者：彦根市議会 公政会
安居正倫、野村博雄、長崎任男、和田一繁、杉原祥浩、小菅雅至、安澤勝、
馬場和子、奥野嘉己(記)
- (3) 日時・場所：
平成 29 年 2 月 10 日(金) 午前 10 時から 12 時 30 分
東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通りハタビル

【1. 研修目的】

東京周辺に訪問している機会を活用し、議員としての知識を高めるプログラムを受講した。
特に公政会は 1 年生議員が多く、共通認識を高めることを目的とした。

【2. 結果報告】

(1) 内 容

* 地方議員研究会 参加

講師 高橋伸介 氏 (元 枚方市議会副議長)

題目 議員活動の基本と議会改革の流れ

下記、講演の中で気が付いた点を記載します。

* 議員要務令：議員としての留意点 5 か条

議会では、最上のものを目指さない

議会では、議員全員のレベルの半歩前を提案する

議会では、徹底して合意形成に努力する

議会では、私を捨てる

議会では、出来れば議員全体と付き合う（職員とも付き合う）

個人的には大いにうなずける面とできていない面があります。

* 明治の大合併～平成の大合併を経てまだまだ集約化の流れは止まっていない。

* 憲法における「地方自治の本旨」の明確化のための改憲論議は必要だろうと感じました。

* 2000 年の地方分権改革以降の地方自治体の自立化、法定外普通税は意外と簡単に儲けることができる。

* 首長のポピュリズムから、行政批判、議会批判で報酬削減、定数削減が叫ばれるようになってきているが、まだこの流れが続く。

* 地方制度調査会の資料は有効活用すべき

* 議員活動の範囲の拡大の流れの中、非常勤という位置づけでの報酬から、「公選職」として歳費支給への流れ

* やはり執行機関監視機能が十二分にできていないと、最近のはやりで言われる政策立案機能や管理運営機能へつながらない。

(2) 考 察

日ごろの議員活動で感じている不合理や、悩みの一端を明快に説明され、今後の議員活動の切り口のヒントになったように思える。

参加費用が 1 講座 15,000 円とかなり高額なため、なかなか連続受講はできませんが、良い講座があれば機会をとらまえ参加を考えます。

以上